東海地域農業女子現地調査（愛西市ブルーベリー園）を開催しました（7 月 12 日）

東海農政局は、東海地域の農業女子プロジェクトメンバーの活動の一環として、令和 4 年 7 月 12 日（火）、株式会社アスゲートファームのブルーベリー園（愛知県愛西市）において現地調査を行いました。

現地調査には、東海地域の農業女子プロジェクトメンバー11 名に御参加いただきました。

株式会社アスゲートファームは、半導体業界向けの産業機械の営業・設計・製作を行う企業が、新規事業として農業に取り組むため設立された法人です。愛知県津島市の農業女子プロジェクトメンバーの協力を受けながら、『家族の笑顔を増やす』をミッションとするブルーベリー観光農園のオープンを目指して準備中です。

株式会社アスゲートファームの小林夫妻から、農業に参入された経緯や観光農園のコンセプトについて説明を受けた後、ブルーベリー園を見ながら意見交換を行いました。

ブルーベリーの収穫最盛期の中、三重県四日市市でブルーベリー観光農園を運営されているメンバーが、偶然にも休園日と重なったため現地調査に参加してくださり、小林夫妻にブルーベリー園経営へのアドバイスや御自身の経験について、お話してくださいました。

小林夫妻とブルーベリー観光農園の先輩メンバーは、お互いにつながりを持てたこと、ブルーベリー業界を共に盛り上げる仲間が増えたことを喜ばれていました。

現地調査では、コロナ禍でなかなか会うことのできなかったメンバー同士が久しぶりに交流し、活発に情報交換をされていました。

東海農政局では、今後も各種の取組を通じて、東海地域の農業女子メンバーのネットワーク拡大を推進していきます。

＜現地調査の写真＞

ブルーベリー現地調査の様子

株式会社アスゲートファームの小林夫妻
右から：代表取締役の智治氏、企画・広報の麻理子氏

ブルーベリー現地調査で交流を深めるメンバー

ブルーベリー現地調査で交流を深めるメンバー

恋愛コーチという異色の経歴を持つ麻理子氏に興味津々

ブルーベリー現地調査で交流を深めるメンバー

写真右：三重県四日市市でブルーベリー観光農園を運営されているメンバー

ブルーベリー観光農園を 8 年間運営されてきた経験や全てのお客様に満足していただけるような心がけについてお話してくださいました

＜参加者のコメント＞

50 代女性　初心を思い出す良い機会になりました。

50 代女性　お久しぶりの方も初めましての方も農業のつながりがまた深くなったようです。モチベーションも上がりますよね。

50 代女性　農業女子の仲間に入れていただいて、初参加でしたが、みなさんとお会いしてお話することができ、参加して良かったと思います。ただ、皆さんとお話できる時間がもう少し欲しかったかな。ブルーベリーも木(品種)ごとに味が違い、勝手にブルーベリー狩りを楽しませていただきました。

60 代女性　異業種からの農業参入者様のリアルな想いをお聞きできてとても勉強になりました。